

第4回オホーツクU-12サッカーフェスティバル

趣旨

オホーツク地区のサッカー少年・少女全体のレベルアップを図り、多くの子供たちに試合出場の機会を与え、子供たちの一層の心身の向上とサッカー技術の向上、そして交流と親睦を深めるため本大会を開催する。

名称

第4回オホーツクU-12サッカーフェスティバル

主催

オホーツク地区サッカー協会 第4種委員会

主管

遠軽サッカー協会
遠軽はやぶさサッカースポーツ少年団

開催日

2020年10月10日(土)～10月11日(日)

会場

えんがる球技場(人工芝グラウンド)
住所:遠軽町福路2丁目

組合せ

- (1) 抽選日 2020年9月26日(土)
- (2) 第4種委員長立ち合いのもと、事務局で厳正に抽選し結果を参加チームへ通知する。

開会式

行なわない

参加資格

- (1) 「参加チーム」は大会実施年度に公益財団法人日本サッカー協会(以下、「JFA」という。))に「第4種」、または「女子」の種別で加盟登録したチームであること。
一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。
- (2) 「参加チーム」は、U-12年代(小学6年生以下)の男子選手またはU-13年代(中学1年生以下)の女子選手の、いずれかによって編成されたチームであること。
- (3) U-13年代(中学1年生以下)の女子選手については(「クラブ申請」を承認された)同一「クラブ」内のほかのチームから選手を参加させることも可能とする。
- (4) 「参加選手」は、上記「加盟チーム」に所属する選手で、JFA「第4種」、または「女子」登録のU-13選手であること。ただしU-6選手の参加は認めないものとする。
- (5) 第4種年代の女子選手については(クラブ申請を承認された)同一クラブ内の他の「加盟チーム」から参加させることも可能とする。
- (6) 引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること、また、内1名以上がJFA公認指導者ライセンス(D級コーチライセンス以上)を有すること。
- (7) 「参加選手」は健康であり、且つ大会参加に関する親権者の同意を得たものでなければならない。
- (8) 「参加チーム」は必ず『傷害保険(スポーツ安全協会傷害保険)等』に加入していること。

- (9) 「参加チーム」及び「参加選手」、「参加チーム関係者※」は、4種委員会策定の「OKFA後期リーグ開始にあたってのガイドライン」を遵守し、チーム内での周知・徹底及び関係書類の管理・保管を実施し、必要が生じた場合には4種委員会からの求めに応じ必要書類を全て提出すること。
※「参加チーム関係者」とは、参加チームの指導者、選手以外の者であり、保護者の他に応援に駆け付けた選手の身内・知人、その他参加チームに関わる全ての者を指す。

大会形式

- (1) 大会二日間を午前と午後の計4つのブロックに分ける。それぞれのブロックに6チームを振り分ける。さらにブロックごとの6チームを3チームごとの二つのリーグに分け予選を行った後、ブロック順位決定戦を行う。ただし、参加チーム数により変更する場合もある。
以下のようにブロック名を設定する。
10日 午前:Aブロック 午後:Bブロック
11日 午前:Cブロック 午後:Dブロック
- (2) リーグ戦順位の決定は、勝点(勝+3、引分+1、負+0)、得失点差、総得点、当該チームでの対戦結果により順位を決定する。それでも同率の場合は、リーグ戦終了後ペナルティキック方式により決定する。
- (3) 順位決定戦では、時間内に勝敗が決しない場合、ペナルティキック方式により決定する。
- (4) 一方のチームの都合により、やむを得ず試合が不成立となった場合は、当該チームの不戦敗(0-5)とする。

競技規則

- (公財)日本サッカー協会「8人制サッカー競技規則」による。
※競技規則については、2020/2021 競技規則を適用する。
<http://www.jfa.jp/laws/>

競技会規定

以下の項目については本大会の規定を定める。

- (1) 競技のフィールド
フィールドの表面は、人工芝とする。
サイズは以下のとおりとする。
フィールドの大きさ:長さ(タッチライン)68m×幅(ゴールライン)50m
ペナルティーエリア:12m
ペナルティーマーク:8m
ペナルティーアークの半径:7m
ゴールエリア:4m
センターサークルの半径:7m
- (2) ボール
試合球は少年用4号球を使用(地区協会で用意)する。
- (3) 競技者の数
競技者の数:8名(競技者のうち1名はゴールキーパーとする。)
交代要員の数:8名以内を基本とする。
交代を行うことができる人数:制限なし(交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。)
- (4) ベンチ入りするチーム役員の数:4名以下。なお、1名以上がJFA公認指導者ライセンス(D級コーチライセンス以上)を有すること。
- (5) 審判員
1人の主審と2人の副審及び1人の予備審判が指名される。

- (6) テクニカルエリア
設置する。テクニカルエリアにいる監督または指導者が判定に対して異議を示し、主審から注意を受けた後に、再度異議を示した時は、主審の判断により退場処分とし、それ以降はベンチからのコーチングを不可とする。
- (7) 競技者の用具・ユニフォーム・シューズ
- ①本競技会に登録した1着以上のユニフォーム(シャツ、ショーツ及びソックス)を試合会場に持参し、着用しなければならない。(2着以上の持参が好ましい。)
 - ②ユニフォームのデザイン、ロゴ等が異なっても、本競技会主催者が認める場合、主たる色が同系色であれば着用することができる(ビブス等も可)。
 - ③ゴールキーパーのユニフォームについて、ショーツ、ソックスはフィールドプレーヤーと同系色でも良いものとする。
 - ④主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合においていずれのチームがビブス等を着用することを決定する。
 - ⑤ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。
 - ⑥アンダーシャツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。
 - ⑦アンダーショーツおよびタイツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。
 - ⑧シャツの前面・背面に参加申込の際に登録した選手番号を付けること。ショーツの選手番号についてはつけることが望ましい。
 - ⑨選手番号については、参加選手ごとに大会に登録されたものを使用する。
 - ⑩すね当ての着用を義務付ける。
 - ⑪スパイクシューズは危険を避けるため、取替えポイントでないものとする。
- (8) 試合形式
- ①試合時間: 24分間(前・後半12分)
 - ②ハーフタイムのインターバル(前半終了の笛から後半開始まで): 原則3分間
 - ③アディショナルタイムの表示: 行う
- (9) 交代の手続き
- ①交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールドの外に出る。
 - ②交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。
 - ③交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことができる。
 - ④交代は、主審、副審、補助審判の承認を得る必要はない。
 - ⑤ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。
- ※交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。
- (10) 負傷者の対応
主審が認めた場合のみ、最大2名ピッチへの入場を許可される。
- (11) 飲水タイム
暑熱下において、前後半中ほどに飲水タイムを採用する。飲水タイムの適用は、各試合前に大会本部が決定し、全てのピッチで適用する。その際、感染症予防対策の観点から手指消毒もあわせて行う。

懲罰

- (1) 本大会規律委員会の委員長は第4種委員長が務め、委員は副委員長・事務局長・審判委員長とする。
- (2) 本大会期間中に警告を2回受けた選手は、本大会の次の1試合に出場できず、それ以降の措置については大会規律委員会において決定する。
- (3) 本大会期間中において退場を命じられた競技者は、自動的に次の1試合に出場できず、それ以降の措置については大会規律委員会において決定する。
競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。
- (4) JFA規定および本記載事項にない事例に関しては、大会規律委員会にて決定する。

表彰

- (1) 各ブロックの優勝チームには、表彰状とトロフィーを授与する。
- (2) 準優勝チーム・3位チームには、表彰状を授与する。
- (3) 参加チームから1名ずつ、優秀選手賞を授与する。

代表者・審判員会議

- (1) 代表者・審判員会議
 - ①午前ブロック 午前8時00分～
 - ②午後ブロック 午後0時00分～※当日の代表者会議には、大会事務局より事前配信される書面内容を確認の上、持参し参加すること。
- (2) 代表者反省会
閉会式終了後に行われる反省会には、各チーム1名は必ず参加し、チーム内の事故報告及び試合結果の確認をすること。万一参加できない場合は、会場責任者へ申し出ること。

閉会式

全チームが参加しての閉会式は行わず、各ブロックの日程が終わり次第、優勝・準優勝・3位のチームの表彰を行う。

大会開始

2020年10月10日(土) 午前9時00分～

帯同審判

出場チームは大会期間中、以下のとおり(公財)日本サッカー協会公認審判員を必ず帯同させること。

- (1) 2日間共に、2名以上(級は問わない)。
- (2) 帯同審判員は、大会期間中審判業務にあたる。
- (3) 帯同審判員は、審判服を着用し審判業務にあたる。ただし、何らかの理由により審判服を持参できない場合、運営側で用意したビブスを着用して審判業務にあたることを認める。

参加料

大会参加料 8,000円 大会当日受付時に納めること。

参加申込

- (1) 参加チームは最大24チームとする。
- (1) 参加チームは所定の様式をEメールで大会事務局まで申し込むこと。
- (2) 参加申込
 - ①1次申込:2020年9月16日(水) 午後7時まで(チームエントリー)
 - ②2次申込:2020年9月23日(水) 午後7時まで(チーム名簿の提出)※全日少のブロック大会前に締め切り日を設定しています。申込みをしていたチームが予選を突破し、本大会に出場できなくなった場合は、速やかにお知らせください。
- (3) 1クラブからの複数チームの登録は認める。ただし、選手・チーム監督・帯同審判員の重複は認めない。

【申込先】 オホーツク地区サッカー協会
第4種委員会事務局
担当 米谷研郎(遠軽はやぶさ)
E-mail:pokkyu2382@gmail.com
連絡先 090-8903-8604

その他

- (1) 本競技会は大会期間を通じて感染対策担当者を設置する。選手・チーム役員・審判員・大会運営等関係者・引率保護者・観客など会場にいる全ての者は、感染対策担当者の判断・指示等に従わなければならない。また、試合前に、各チームの感染対策担当者とのミーティングを実施する。
- (2) メンバー票の提出は「なし」とする。
- (3) 各チームともスポーツ傷害保険に加入すること。
- (4) ゴミ等は、各チームで責任をもって持ち帰ること。
- (5) 路上駐車及び駐車場の通路への駐車は厳禁とする。
- (6) 駐車場の空きスペースへ場所取りのための椅子等を置く行為を発見した場合は、4種委員会で撤去する。
- (7) 参加選手の持物については氏名とチーム名を記入し、忘れ物がないように周知・徹底すること。
- (8) 荒天・震災・雷等、不測の事態が発生した場合は、本大会事務局において協議の上対処する。中断・中止・延期することがあるので留意のこと。
- (9) 試合中、当該チーム以外のピッチ内の使用は認めない。
- (10) 試合前後の空き時間を利用したピッチ内の使用は認めない。ただし、キックオフまでの時間に余裕があり、当該試合の審判団がピッチの使用を認めた場合は、この限りではない。
- (11) 「受動喫煙防止法」により、特に喫煙場所が指定されていない場所での喫煙は原則認めない。
- (12) 大会運営からの昼食、宿泊の斡旋は行わない。